

学園祭協賛行事 フォーラム 学生と図書館

「僕たちが残したものの、  
私たちが残すもの ～時を超えて～」

11月2日(日)に本学図書館で学園祭協賛行事の一環として、「フォーラム 学生と図書館 僕たちが残したものの、私たちが残すもの ～時を超えて～」を本学図書館第2 閲覧室で開催いたしました。その時に発表していただいた3組の発表の要旨をもとに図書館フォーラムを振り返ります。

<要 旨>

「絵本でつなぐ笑顔の架け橋」



青野有里子さん  
(英米語学科3年次生)



谷口 有希さん  
(日本語学科2年次生)

私たちは、今学内で「Picture Books for Cambodian Children」というボランティア・グループで活動しています。このボランティア・グループは、2003年より活動を始めています。今までに3回カンボジアに行って、現地子どもたちに私たちが作った絵本を手渡してきました。今回のスタディーツアーでは、寺子屋やスラム、孤児院の子どもたちに合計125冊の絵本を届けました。私たちが到着すると、みな元気に出迎えてくれました。子どもたちが私たちと会ったとき、そして絵本を見たときのキラキラとした瞳に感動しました。カンボジアは、アジアで2番目に貧しい国といわれています。カンボジアの人口の約66%は、1日1ドル未満で生活しているのが現状です。内戦の爪痕が今も色濃く残っています。236人に1人は、手が足がないのです。町を歩けば、物乞いの人や空き缶を拾うストリート・チルドレンやごみ山で暮らす人が溢れています。それでも子どもたちの笑顔は、輝いていて私たちの活動の大切さを感じました。もっとたくさんのカンボジアの子どもたちを笑顔にするために、これからのカンボジアを担っていく子どもたちのために私たちは、絵本を作り、手渡す活動を続けます。この9月に私たちが作った4種類の絵本が全て外大の図書館のホームページにてデジタル化されました。外大図書館ホームページの「絵本でつくる笑顔の架け橋」をクリックしていただきますと、デジタル化した絵本のみならず、カンボジアでのスタディーツアーの活動報告書、写真などをご覧になることができます。また実際に作った絵本も1階のビジュアル資料閲覧室に置かれています。どうぞ手にとってご覧ください。

